

ぷらっとホームと Securitize、RWA トークナイゼーションの 未来を切り拓く両社が事業提携を発表

～「あたらしい日本酒体験創出のための流通実証事業」における連携開始～

2025年3月21日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証スタンダード 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は Web3 事業を推進するため、セキュリティ・トークン（以下、ST） / デジタル証券の発行・ライフサイクル管理プラットフォームを提供する Securitize Japan 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：ジェームス・エイチ・フィン、以下、Securitize）との事業提携を発表いたしました。

今回の提携により、Securitize の持つ金融領域（ST）におけるトップクラスの実績と、ぷらっとホームが持つ IoT を駆使した非金融領域のトークン化技術が融合し、現実世界の幅広い資産をトークン化する新たな市場の創出が期待されます。



RWA(*1)とは、現実世界に存在する有形・無形の資産をトークン化する仕組みであり、金融・非金融の両領域に適用範囲が広がっています。このような RWA のトークン化市場は、2030 年までに全世界で 320 兆円規模に成長すると米大手コンサルタントのマッキンゼーが予測しています。（参考：<https://www.mckinsey.com/industries/financial-services/our-insights/from-ripples-to-waves-the-transformational-power-of-tokenizing-assets#/>）

ぷらっとホームは IoT 技術のパイオニアであるとともに、有形資産をトークン化する ThingsToken™ (*2)の技術を開発しています。また、Securitize は、ST/デジタル証券(*3)向けのソリューションとプラットフォームを提供し、グローバルでトップクラスの実績を持っています。

この両社が提携することで、金融・非金融を問わずあらゆる RWA を対象とする包括的な RWA 事業を推進し、ワールドワイドなグローバル市場への参入を目指します。

例えば、IoT デバイスが取得する都市データの資産化、産業用の IoT データの資産化、設備の利用権の資産化、ESG データのトークン化、知的財産のトークン化やスマートコントラクトによる管理など、非常に広い用途で活用する機会が期待できます。

現在、ぷらっとホームが推進している「真空技術と Web3 技術を活用したあたらしい日本酒体験創出のための流通実証事業」(*4)において、ぷらっとホームの IoT プラットフォームと Web3 技術、ThingsToken ™の技術が活用されています。この実証事業において、エコシステム内の権利やインセンティブ等の発行／管理を目的とし、Securitize を活用した実証を開始しております。

エグゼクティブコメント

● ぷらっとホーム株式会社 代表取締役社長 鈴木友康
ぷらっとホームが参加し進めている「真空技術と Web3 技術を活用したあたらしい日本酒体験創出のための流通実証事業」に当社の ThingsToken ™と、Securitize のプラットフォームを使用しています。これは Securitize と当社の提携によるローカルな成功の一つです。Securitize と当社は、さらに深化した提携により、これからの世界を変える RWA の ST 事業化をグローバルに展開してまいります。

● Securitize Japan 株式会社 Country Head, Japan 小林英至
Securitize Japan は自己募集 ST、映画 ST、銀行販売型 ST、合同金信 ST などの先進的取り組みに見られるように、これからも金融領域における ST の対象領域拡大をリードしていきます。加えて、今回の事業提携は、これまでの伝統的金融の世界ではカバーできていなかった領域への挑戦となり、大きな可能性を感じています。ぷらっとホームとは、日本酒に関わる新たなソリューションに始まり、グローバル市場を視野に入れた新たなビジネスモデルを構築していきたいと考えています。

用語

(*1) RWA : Real World Assets (現実資産)。現実世界に物理的に存在する資産をブロックチェーン上にトークン化したものです。不動産や芸術品などの有形資産だけでなく、有価証券などの無形資産も含まれます。

(*2) ThingsToken ™ : ThingsToken ™は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。現実世界の資産 (RWA : Real World Assets) のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2 の世界を Web3 の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsToken ™はぷらっとホーム株式会社の登録商標です。

(*3) デジタル証券 (ST) : ブロックチェーン技術を用いて有価証券をデジタル化したものです。仲介業者を介在させずにブロックチェーン上で直接取引が可能なため、従来の証券取引よりも効率的で迅速な取引が実現されます。デジタル証券も RWA の一種と言えます。

(*4) 参考 : 真空技術と Web3 技術を活用したあたらしい日本酒体験創出のための流通実証事業の開始について (<https://www.plathome.co.jp/press-release/20241023-nihonshu-iot/>)

ぷらっとホームについて

ぷらっとホームはマイクロサーバー・IoT ゲートウェイの開発製造メーカーです。1993年の創業より Linux サーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製サーバーを供給してきました。代表的な製品である超小型 Linux サーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されています。さらに、近年は Web3 技術の開発と実証事業を取り進めています。

■ ぷらっとホーム株式会社 概要

会社名： ぷらっとホーム株式会社

所在地： 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F

代表者： 代表取締役社長 鈴木 友康

事業内容： マイクロサーバー・IoT ゲートウェイなどの自社製品コンピュータの開発および販売、各種ネットワーク関連製品の販売、自社製品の保守・サポートサービスの提供 IoT コンサルティング・ソリューションの提供

設立年月： 1993年3月23日

ウェブサイト： <https://www.plathome.co.jp/>

Securitize について

Securitize, Inc.は 2017 年に米国で設立された大手デジタル証券会社*で、発行から流通市場まで対応したセキュリティトークン・ソリューションを提供しています。企業には法令に準拠した資金調達と株主管理サービスを、投資家にはオルタナティブ資産への投資機会を提供しており、3,000 社以上の企業と 120 万人の投資家を有しています。Securitize, Inc.は子会社の Securitize, LLC 及び Securities Markets, LLC、Pacific Stock Transfer から構成されます。Securitize, LLC は、米国で SEC 登録のトランスファーエージェントです。Securitize Markets, LLC は SEC 登録のブローカーディーラーで、FINRA 及び SIPC に加入する代替取引システム (ATS) 提供業者です。詳しくは <https://www.securitize.io> をご覧ください。

*Securitize は、日本において証券業を行っておりません。

■ Securitize Japan 株式会社 概要

会社名： Securitize Japan 株式会社 (セキュリタイズジャパン)

所在地： 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 6F

代表者： 代表取締役 ジェームス・エイチ・フィン

事業内容： デジタル証券の発行・管理プラットフォームを提供

設立年月： 2018年9月

ウェブサイト： <https://www.securitize.co.jp/>

本発表に関するお問い合わせ先

- ぷらっとホーム株式会社 セールスマーケティング課
pr@plathome.co.jp
- Securitize
<https://www.securitize.co.jp/about-us/contact-us>

※ 本プレスリリースに記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。